

Do CL Column

新しいステージに乗る —CL を実践し続ける—

香菜恵



私は怖がりだ、本当に怖がりだ。

高校生時代になっても、中学生時代の記憶から中々抜けだせない（抜け出さない）子供だった。高校を卒業しても、次に行けず、高校生時代から抜け出さなかった。いつも自信が無くて、新しいステージに怯えていたのだ。今を生きるの逆を行っていたと、本当に思う。

そこから奮起して、頑張っって働き出して、JAZZ も習ってみたり、色々な人と交流したり、一人暮らしをしたり、お金も知識も、色々いろいろ足りないまま、外へ出た。それは、世の中に触れたい一心だった。今を生きる事をしたかった。

そんな中、出逢いがあり、結婚に至った。

また次のステージに怯えている自分に気づく。

結婚したら、娘さんは終わりにして、現実的にしっかりと役割や必要な事が出来る様にならなければならない。と、また気づくのが遅れた。

コロナ禍で久しぶりに会った友人が、とても精悍な顔になっていた。聞けば、お父さんが闘病中で、看病しながら、お母さんの事もサポートする為にアパートと実家を行き来しているそうだ。出会った時は31歳で、メンタル的な持病があって、少しパワーが無かった彼女の顔が、駅の改札口で遅しく光っていた。

その今を一生懸命に生きている彼女に、凄く救われたし、怖がって考えているばかり、甘えてばかりの自分を顧みるきっかけになった。人に建設的に何か出来る人間になりたい。と感じ、自分に対する反省と誰かに何か力になれる人への憧れを、同時に感じて、本当の意味で、大人の女性になるということが、今の私には本当に必要だなと感じた。（千葉県千葉市）

 [目次へ戻る](#)